ミニ・オペレッタ

もじゃもじゃぼうや

一幕二場

原作・川　崎　大　治



指導監修・中　野　正　以　先生

台本作成グループ・会　田　洋　子

阿　部　美奈子

石　津　加代子

井　上　美　子

上　原　百合子

大　内　順　子

—— 第一場 ——

登場する 人・物

もじゃもじゃぼうや
しきふ
もうふ
まくら
シャツ
ズボン
くつ，くつ下
モップ
パケツ
ぞ う
くまま
外，動物たち
鳥たち，

幕前斉唱はじまる

歌A（もじゃもじゃぼうや）　　阿 部 美奈子 作詞

1. 髪刈ることも 顔洗うのも
   爪を切るのも 手を洗うのも
   とても嫌いな 男の子
2. いつも真黒もじゃもじゃ頭
   ぼうやにあだ名が付きました
   もじゃもじゃぼうやと呼びました

歌の途中で幕が上がる
もじゃもじゃぼうやが部屋で寝ている…… 開

朝・もじゃもじゃぼうやが目をさますと……

歌B（逃げてく毛布）　　井 上 美 子 作詞

ぼうや　さぁたいへんだ驚いた
毛布が毛布が逃げだした
おーい待ってくれどこへ行く
僕の毛布よどこへ行く

毛　布　僕いぼうやがもういやだ
汚いぼうやはたくさんだ

ぼうや　さぁたいへんだ驚いた
みんなが僕から逃げだした

もじゃもじゃぼうやが窓から逃げる枕カバー・敷布・毛布・シャツ・ズボン・くつ下を追いかける。

もじゃ：「待ってよぉー　待ってよぉー」
毛　布：「汚い手でさわっちゃいゃー」
シャツ：「逃げろー」

さぁたいへん，もじゃもじゃぼうやは，あわてて追いかけます。

もじゃ：「待ってよぉー」
シャツ・毛布・ズボン
　：「いやだいやだ汚いからいやだ」
もじゃ：「待ってよぉー」

枕カバーと毛布と敷布とシャツとズボンとくつ下とくつが逃げて行くと，モップとバケツに出逢う

モップ：「どうして逃げていくのですか」
ズボン：「僕たちもじゃもじゃぼうやの所から逃げて来たの，あんな汚いのはもうたくさん」
バケツ：「それなら私たちにまかせてよ」

モップとバケツがちょうど追いついたぼうやに言う。

バケツ・モップ
　：「さぁさぁ私たちがすっかりきれいに洗ってあげよう」
もじゃ：「いやだよぁーぼくきれいになんかなりたくないよぉー」

今度はぼうやの方が逃げだす。

歌C（きれいにしよう）　　石　津　加代子　作詞

1. きれいにするのが大好きさ
　汚いものを見つけると
　追いかけたくなる私たち
　待って　待て　待て　つかまえろ

2. ブラシ　石けん　みんな来い
　汚いぼうやをピカピカに
　みんなできれいにしてやろう
　待って　待て　待て　つかまえろ

—— 第二場 ——

花も虫も鳥もみんなぼうやにさわられないようによける，ぼうやは森の中へ逃げ込む。

—— 動物たち登場 ——

もじゃ：「象さん僕をかくしてよぉー」
　象　：「いやだぞぅー」
もじゃ：「熊さん僕をかくしてよぉー」
　熊　：「くまった　くまった」
外，動物達
　：「逃げろー」

動物たちは一斉に逃げる

モップたち，またぼうやを追いかける。
ぼうやがしばらく逃げていると大きな樽を見つける。

もじゃ：「しめた　いい事を考えたぞ」

ぼうやは樽の中へかくれる。

歌E（ぼうやはどこだ）　　大　内　順　子　作詞

きれいにするのが大好きで
ぼうやを追って来たけれど

おや！ おや！ ぼうやが見えないぞ
あちこち　捜して　おおさわぎ

モップたち樽へ近づく

バケツ：「あっ　見つけた!!　あの樽の中にいるぞ」

みんなはそぅーと樽の中へ近づいていく

もじゃ：「もう追いかけて　来ないかなぁー」
バケツ：「しーっ　静かに」
もじゃ：「あーぁ　心配だなぁー」

歌F（やっとぼうやをつかまえた）　　会　田　洋　子　作詞

1. もじゃもじゃぼうやが　消えちゃった
どこだ　どこだ　ぼうやはどこだ
あー見つけたよ　あの樽だ
1.2.3.　1.2.3.で近づいた

2. ぼうやがかくれた　その樽に
やっぱり　ぼうやがかくれてた
さあつかまえた　洗いましょう
ジャブジャブきれいに　洗ったよ

モップ：「みんな　ぼうやを洗え」
バケツたち
：「よしきた」

ごし ごし ごし ごし　みんなでぼうやを洗う

もじゃ：「やっやっやめてくれー　きれいになるのは　いやだっー」
バケツ：「ほうら　どんどんきれいになっていくぞ」

みるみるうちに，きれいになっていく
ぼうやは，自分を見てびっくりする

もじゃ：「あっ何だか　気持がすっきりした」
モップたち
：「ぼうや　ほうらきれいになったじゃない」
もじゃ：「うん　僕　からだ洗うの大好きになったよ」

モップたち

：「よかった　よかつた」

歌G（きれいにしましょ）　　上　原　百合子　作詞

1. お爪をぱちぱち　切りました
　髪の毛ちょきちょき　刈りました
　からだをジャブジャブ　洗ったら
　ほら　きれいでしょ　きれいでしょ

2. もじゃもじゃぼうやも最後には
　こんなにきれいになりました
　みんな仲良く　踊りましょ
　ラララン　ラララン　ランラララン

あそびました。

踊っているうちに……

―― **幕** ――

〔寸　評〕

ことしは，全グループ(４グループ)中，童話などの既成名作と現代作品が半々であった。台本の出来具合は大体良好で，甲乙をつけ難かったが，後者の中「もじゃもじゃぼうや」を選出した。現代作品を採りあげるのは久しぶりであるし，この作品はスケールも手頃であるし，内容もおもしろい。動きも多く，男児向きであるのも良い。お遊戯会，発表会の素材としてばかりでなく，平素の領域関連保育（健康，言語，音楽）用教材としても活用出来る点も大きな長所である。

台本も手際よく構成されているし，セリフやうたもリズミックであって良い。蓋し，労作といえよう。　　（中野正以）